

## V 流通・販売

### 農畜水産物の海外輸出

本格的な人口減少社会を迎え、将来的に国内マーケットの縮小が見込まれる中、海外では、アジア地域での富裕層の増加や欧州での日本食ブームを背景に、魅力あるマーケットが形成されています。

県では、岐阜県農林水産物輸出促進協議会(事務局:JA全農岐阜)と連携し、飛騨牛・柿・鮎を中心に県産農畜水産物の輸出促進に取り組んでいます。

#### ○主な取組内容

##### <トップセールス等での認知獲得>

- ・「観光・食・モノ」を三位一体でPRする「飛騨・美濃じまん海外戦略プロジェクト(H21～)」を通じて、アジア、EU、北米、豪州でのトップセールスを順次展開してきました。
- ・海外の高級百貨店や大手食品卸、有名レストランとの間で県産農産物のブランド力向上に関する協力覚書を締結し、4カ国(タイ、フランス、香港、豪州)に海外展開の拠点を確保しています。
- ・令和2年度はコロナ禍で渡航制限が続く中であっても、これら海外拠点との連携を強化し、飛騨牛のテイクアウトメニューやミールキットの販売PRなど現地プロモーションを継続実施しました。

##### <フォローアップを通じた輸出ルートの確保>

- ・飛騨牛の特徴や美味しさを海外レストランシェフに伝えるため、カットティングや調理の実演セミナーを開催しています。
- ・富有柿の更なる輸出拡大に向け、海外の高級百貨店等における販売PRフェアを継続的に開催しています。
- ・岐阜県産鮎を継続的に取扱う海外レストラン・販売店の認定制度を、飛騨牛に続き創設し、現地消費者への発信体制を強化しています。

##### <本格輸出に向けた民間取組への移行>

- ・輸出先国が求める園地登録や残留農薬検査などの生産対策から、現地語パンフレットの作成や商談会出展などの販売対策まで、生産者主体の取組みを幅広く支援しています。



料理学校での飛騨牛セミナー  
(R1.9 豪州)



富有柿の販売PRフェア  
(H30.11 香港)



岐阜鮎海外推奨店認定式  
(R1.11 タイ)

#### ○主要品目の輸出実績(推移)

単位:トン

年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
飛騨牛	-	-	-	-	0.3	0.5	1.1	1.3	2.0	9.5	16.1	23.5	24.6	43.2	59.2	51.7
鮎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	0.07	0.42	1.04	1.22	1.42	1.31
柿	0.5	9.8	21.6	8.0	11.1	9.0	10.0	4.9	34.0	23.7	21.5	47.2	43.6	53.1	48.5	51.9

※県農産物流通課調べ

#### ○岐阜県農林水産物輸出促進協議会

県産農産物等の輸出拡大に向け、農業団体・食品産業団体・商工業団体などにより、平成16年9月に設置された組織(構成:10団体)

JA全農岐阜、岐阜県園芸特産振興会、飛騨牛銘柄推進協議会、岐阜県漁業協同組合連合会、岐阜県食品産業協議会、岐阜県商工会連合会、JETRO岐阜、岐阜県産業経済振興センター、ぎふクリーン農業研究センター、岐阜県

# 首都圏等での販売促進

## ○首都圏での販売促進の取組み

情報発信力の高い首都圏において、様々なチャンネルを利用し、飛騨牛、鮎など県産農畜水産物の効果的なPRやイベントを実施しており、消費者認知度（ブランド力）のさらなる向上や販路の拡大につながっています。

### 首都圏での飛騨牛取扱店舗数の推移（R3.1月末現在）

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
飛騨牛新規取扱店	49	59	72	97	121	128
飛騨牛料理指定店	16	16	15	14	15	15

※飛騨牛料理指定店

飛騨牛銘柄推進協議会が以下の（1）もしくは（2）の要件を満たしたものを認定する。

- （1）飛騨牛販売指定店より飛騨牛のA5・B5をおおむね年間3頭以上購入し、飛騨牛のイメージアップにふさわしい料理店。
- （2）飛騨牛を販売指定店より購入し、常時飛騨牛のA5・B5のみを使用していて、飛騨牛のイメージアップにふさわしい料理店。

## 【販売促進の取組み】

東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、飛騨牛をはじめとする県産農畜水産物のブランド力向上を図るため、首都圏のホテル・レストラン等を対象に各種PR活動を展開しています。

### 1 清流長良川の鮎フェア

清流長良川の天然鮎「郡上鮎」を使用したメニューフェアを、東京都内のホテル・レストラン14店舗で開催。



### 2 飛騨牛メニューフェア

本県のトップブランドである飛騨牛を使用したメニューフェアを、首都圏のホテル・レストラン30店舗で開催。



### 3 首都圏の飲食店とのオンライン商談会

首都圏のホテル・レストランの料理長、仕入れ担当者等を対象に、県産農産物の利用拡大を図る商談会を、初めてオンラインで開催。

### 4 県産食材取扱店舗におけるフェアの支援

首都圏のホテル・レストランが独自に企画したフェア等において、県産食材の利用や、本県の観光・物産の情報発信を支援。



オンライン商談会  
(R2.8.27 OKB ふれあい会館)



県産食材を利用したメニュー  
(R2.11月 都内ホテル)



県産食材の情報発信  
(R2.11月 都内ホテル)

## ○地理的表示保護制度（GI）の活用促進

地理的表示保護制度（GI）の活用を促進し、全国GIサポートデスクと連携して対象品目の洗い出し及び登録を目指す団体の登録支援を行っています。

- <登録状況>・奥飛騨山之村寒干し大根（すずしろグループ） 登録日：平成29年11月10日
- ・堂上蜂屋柿（美濃加茂市堂上蜂屋柿振興会） 登録日：平成29年12月15日

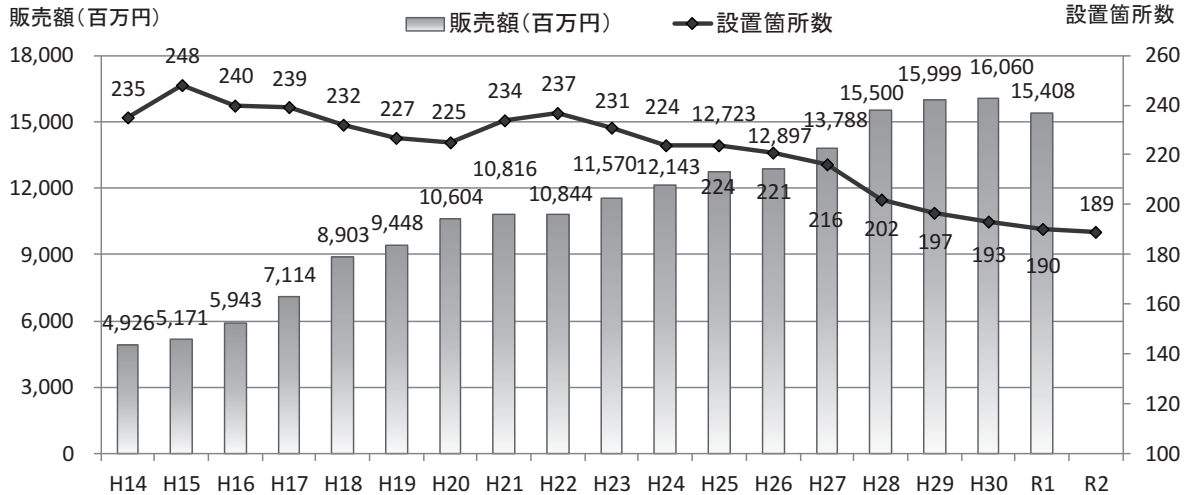
# 地 産 地 消

## ○農産物直売所は189箇所

県内の農産物直売所は、新鮮で安全、安心な農産物を求める消費者ニーズの高まりとともに各地域で開設されています。しかし、平成15年度の248箇所をピークに、大型直売所への統廃合や組合員の高齢化等により減少傾向にあり、令和2年5月1日現在189箇所となっています。

一方、販売額は、大型直売所における来客者及び売上増加により増加傾向にあります。

### 朝市・直売所等の設置数と販売額の推移



県農産物流通課調べ

注) 調査対象：①有人販売、②定期開催、③複数の地元農家が出荷し開催している直売所

## ○学校給食での県産農産物の利用状況

学校給食での県産農産物の使用割合は、米では100%（岐阜県の銘柄米であるハツシモ、コシヒカリ）、小麦粉では50%以上となっています。

利用率の低い畜産物や、野菜及び果実の使用を促進するため、学校給食地産地消推進事業の助成対象の範囲を拡大するなどの取組みにより、県産農畜産物の使用割合は、品目ベースで令和元年度に33.8%、県内産の野菜及び果実では重量ベースで令和元年度に23.2%となっています。

### 学校給食における県内産農産物の使用割合(%) (品目ベース)

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
岐阜県	27.6	27.8	31.6	29.4	31.0	29.1	31.3	27.2	31.8	33.8	33.8
全国平均	26.1	25.0	25.7	25.1	25.8	26.9	26.9	25.8	26.4	26.0	26.0

県教育委員会体育健康課調べ

### 県内産の野菜及び果実の利用割合(%) (重量ベース)

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
県内産	19.0	20.1	22.3	22.4	23.7	23.0	22.9	21.4	22.9	22.0	23.2

県農産物流通課調べ

注1) (22年度まで) 岐阜市の青果物使用実績を基に県全体の青果物総使用量を算定

注2) (23年度) 学校給食地産地消推進事業 使用実績報告数値(県内産野菜・果実等使用量)

注3) (24年度以降) 野菜・果実等使用量調査結果

# 食 農 教 育

## ○食農教育の推進

平成 18 年 4 月 1 日に岐阜県食育基本条例が施行され、家庭、学校、医療機関、農林業者、食品関連事業者、消費者団体、行政機関等食育に関わる全ての関係者が、相互理解を深めながら連携、協働して食育を推進するため、「岐阜県食育推進基本計画（第 1 次計画／平成 19 年 3 月策定）」、「第 2 次岐阜県食育推進基本計画（平成 24 年 3 月策定）」に続き、平成 29 年 3 月に「第 3 次岐阜県食育推進基本計画（計画期間：平成 29～33 年）」を策定しました。

（第 3 次計画については計画期間を令和 4 年度まで延長予定 R3. 1. 15 現在）

県民の参加と協働で食農教育を推進しており、各地域で食育推進ボランティアが地域の食文化を題材にした講習会や農の体験を通じた食育に取り組んでいます。

### 地域実践活動の実績

年 度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
団体数(団体)	3	5	5	4	4	4	4	4	4	/	3
開催回数(回)	156	163	176	176	192	181	233	183	197	/	128
参加人数(人)	10,613	7,412	9,278	7,998	7,845	6,691	9,226	7,828	8,120	/	4,373

※H30 は農林水産省事業不採択のため実績なし 県農産物流通課調べ

## ○幼児に対する食農教育の推進

「幼児食農教育プログラム（平成 19 年策定／平成 25 年改訂、策定主体：岐阜県）」を、県内幼稚園や保育施設等へ普及するとともに、幼児及び児童用調理器具の貸出しを行い、体験を通じた食農教育を推進しています。

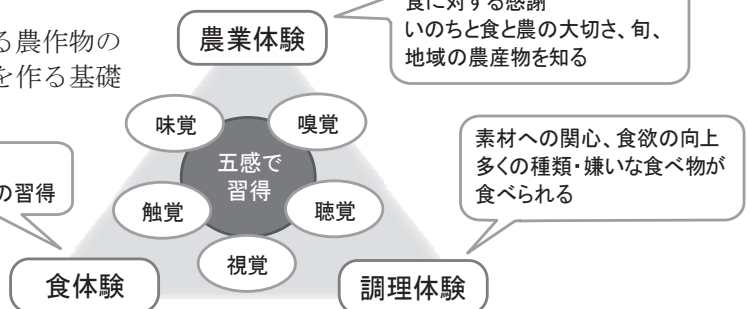
### 調理器具貸出実績

年 度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
団体数(団体)	9	9	12	9	9	10	10	9
回数(回)	11	12	14	10	11	13	15	12

### 幼児食農教育プログラム

生命の尊さを実感し感動することができる農作物の栽培、味覚の発達を促す食べる体験、料理を作る基礎能力を養う調理体験などを通じ、食と農の大切さを理解し生きる力の基礎を身につけ、幼児の心身の健全な発達を促すためのプログラム。  
（策定主体：岐阜県）

味覚の発達  
食習慣やマナーの習得



## ○大学生に対する食農教育の推進

青年層を対象とする取組みとして、岐阜市の枝豆産地の協力のもと、岐阜市立女子短期大学の学生を対象に食農教育活動を実施しています。令和元年度は 9 人の学生が参加し、枝豆の定植や収穫、収穫祭のスタッフなどを体験し、枝豆や生産者への理解を深めました。

# 6 次 産 業 化

## ○岐阜県 6 次産業化サポートセンターの設置

6 次産業化とは、農林漁業者が自ら生産（1 次産業）した農林水産物を使って、加工（2 次産業）や販売（3 次産業）を一体的・主体的に行う取組みのことで、付加価値の向上や流通マージンの削減により、農林漁業者の所得向上につながることを期待されています。

県では、農林漁業者が経営改善を目指して 6 次産業化に取り組むうえで発生する課題解決のために、岐阜県 6 次産業化サポートセンターを設置し、コンサルタントや加工品製造などの専門家（6 次産業化プランナー）の派遣、人材育成研修を実施しています。

### 【専門家派遣及び研修開催実績】

年 度	H29	H30	R1
プランナー派遣件数	593	449	308
人材育成研修実施数	26	30	31

## ○6 次産業化の総合化事業計画

農林漁業者等が、①農林漁業経営の改善を図ることを目的に、②農林水産物等の生産及びその加工又は販売を一体的に行う事業活動であって、③農林水産物等の価値を高めることを目指すとする総合化事業を行うにあたり、六次産業化・地産地消法に基づいて事業計画を作成し農林水産大臣の認定を受けることができます。県内の認定件数は 93 件です。

### 【認定件数の推移】

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	計
認定件数	20	27	10	3	7	11	6	6	3	93

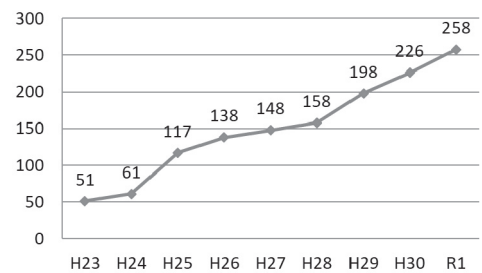
## ○6 次産業化新商品開発

県の「農業 6 次産業化促進支援事業」等により、農林漁業者が行う新商品開発や、加工品製造する際に必要となる設備・機械等の整備を支援するとともに、商品の販路拡大を支援するため商談会を継続して開催しています。

県内での 6 次産業化の取組みのすそ野は着実に広がっており、平成 20 年度から令和元年度までに県の支援策等を活用して、258 品目の新たな加工品が開発されています。

### 【最近開発された商品例】

- ・ミニトマトジュース（各務原市）
- ・お茶のタブレット（大垣市）
- ・ジビエクロッケ（大野町）
- ・干し芋（池田町）
- ・ドライフルーツ（美濃加茂市）
- ・瓶詰キャビア（中津川市）
- ・トマトピューレ（高山市）



開発された加工品数（累積）

## ○岐阜県情報発信拠点「GIFTS PREMIUM」の運営

農林漁業者が 6 次産業化商品のテストマーケティングを行い、既存製品のブラッシュアップや新商品開発につなげる場として、名古屋栄オアシス 2 1 内にアンテナショップを設置しています。

### 【概要】

- ・名称：GIFTS PREMIUM（ギフツプレミアム）
- ・設置：平成 26 年 8 月 1 日  
平成 31 年 4 月 27 日リニューアルオープン
- ・規模：約 150 m<sup>2</sup>
- ・内容：6 次産業化商品、農産物、加工食品、地場産品など約 800 品目の販売並びに観光案内、移住相談機能を集約し、「観光・食・モノ」をはじめとした清流の国ぎふの魅力の総合的な発信



# 農 産 物 流 通

## 卸売市場取扱金額は815億30百万円

令和元年度の県内卸売市場の取扱金額は、青果物が535億円、水産物が127億円、食肉が136億円、花き・その他が17億円で、合計815億円（前年比94%）となっています。（中央卸売市場及び地方卸売市場の計。類似市場は除く。）

### 県内卸売市場取扱金額の推移

(単位：億円)

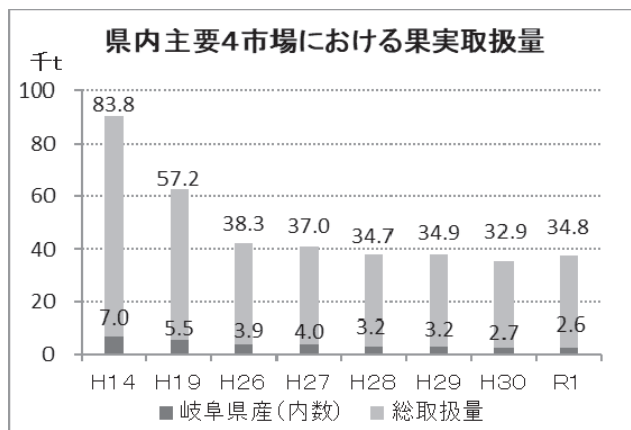
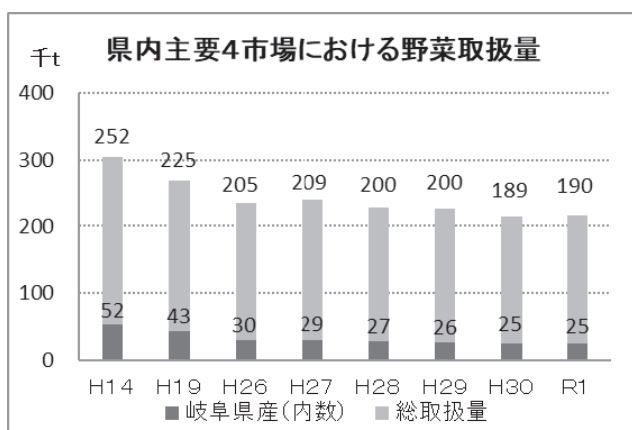
年 度	平成14	平成19	平成24	平成29	平成30	令和1
青果物	769.56	650.94	565.46	591.69	563.00	535.37
水産物	401.60	290.59	193.07	147.88	137.36	126.66
食 肉	111.61	143.53	126.40	154.43	152.68	136.37
花き・その他	43.93	31.75	27.13	21.24	17.75	16.90
合 計	1,326.70	1,116.81	918.18	915.24	870.79	815.30

県農産物流通課調べ

## ○卸売市場における県内産青果物の市場占有率は、野菜 13.1%、果実 7.4%

県内主要4市場（岐阜市中央卸売市場、大垣市、高山市、可児市の地方卸売市場）の取扱量は、野菜が19万t、果実が3万5千tとなっています。

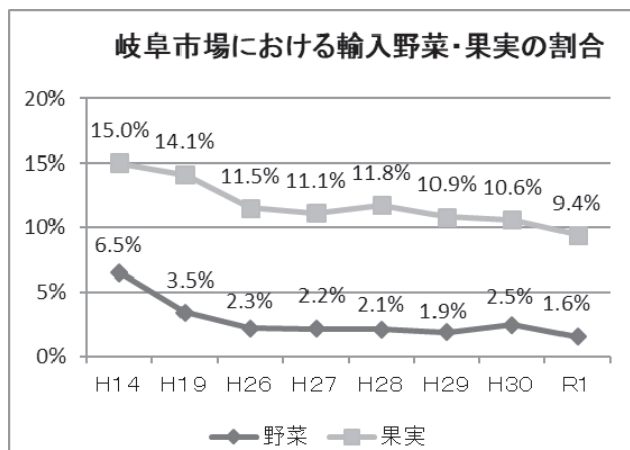
また、そのうち岐阜県産の取扱量は、野菜が2万5千t（市場占有率13.1%）、果実が2千6百t（市場占有率7.4%）で、岐阜県産の市場占有率は野菜・果実とも減少で推移しています。



## ○卸売市場における輸入青果物の割合は横ばいで推移

岐阜市中央卸売市場における輸入青果物の取扱数量は近年ほぼ横ばいで推移しています

(野菜1.6%、果実9.4%)。



県農産物流通課調べ

## ○青果物等の市場群別共販額

### 県内青果物等の市場群別共販額の推移

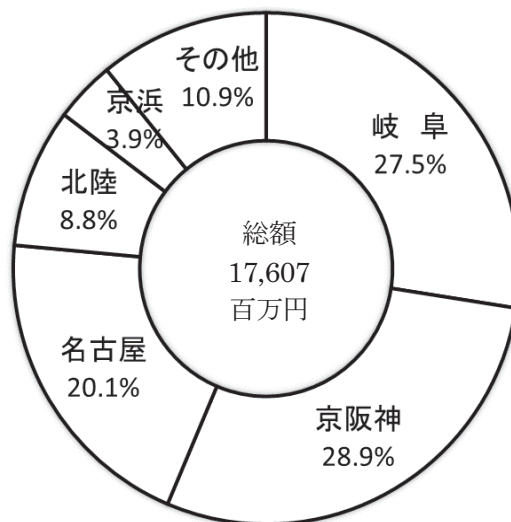
単位：百万円

市場群	平成 12	平成 17	平成 22	平成 30	令和 1
岐 阜	7,320	6,075	6,060	5,023	4,837
京阪神	7,988	6,647	5,909	5,209	5,089
名古屋	4,476	4,167	3,096	3,376	3,536
北 陸	4,009	2,981	2,335	1,578	1,552
京 浜	1,590	1,362	1,000	670	682
その他	777	837	1,929	2,256	1,911
総額	26,160	22,069	20,328	18,111	17,607

(四捨五入により合計が一致しないことがあります)

県農産物流通課調べ

### 同左の市場群別出荷割合（令和元年度）



## ○青果物等銘柄品共販の推移

本県では、平坦地から高冷地まで変化に富んだ自然条件と、大消費地に近い流通条件を活かした園芸振興を基本として、JA等系統組織を通じて県内外の市場へ出荷されています。

### 岐阜県青果物等銘柄共販数量及び金額の推移

単位：t、千本、百万円

年 度		平成 12 年		平成 17 年		平成 22 年		平成 30 年		令和 1 年	
区分	項 目	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
野菜	トマト	23,345	7,179	21,557	5,872	17,637	5,839	19,058	6,066	19,536	5,548
	ほうれんそう	8,847	4,954	8,823	5,007	8,351	5,127	7,155	4,587	7,093	4,311
	いちご	3,146	2,958	2,198	2,126	1,742	1,584	1,093	1,369	1,200	1,480
	だいこん	16,185	1,660	11,322	1,015	7,176	774	5,790	588	6,735	653
	えだまめ	1,726	1,003	1,501	878	1,041	762	721	585	783	551
	きゅうり	3,165	774	3,063	743	2,787	755	2,357	656	2,219	606
	にんじん	5,204	516	4,346	454	3,056	430	3,216	302	3,624	368
	なす	1,666	304	1,167	224	743	191	453	140	440	136
	たまねぎ	1,598	72	831	61	436	39	511	27	463	25
	さといも	389	65	218	35	173	34	214	44	196	41
	メロン	91	30	43	20	47	20	31	18	25	15
果樹	かき	7,836	1,463	7,584	1,157	3,245	1,100	3,221	855	3,386	915
	なし	545	117	544	103	135	42	85	26	86	27
	もも	317	95	230	61	114	52	93	44	82	40
	みかん	457	76	529	36	107	22	172	27	160	26
	くり	99	36	74	38	52	21	15	12	22	18
	りんご	69	15	113	30	94	18	69	12	81	15
特産	荒茶	426	557	441	555	294	336	256	260	155	158
花き	花き	8,373	566	6,954	485	5,418	423	2,434	227	2,333	217
合 計		—	22,440	—	18,900	—	17,569	—	15,845	—	15,150

(「いちご」はH21以降「夏いちご」を含む。) 県農産物流通課調べ